



学校教育目標 ふるさとを愛し 自ら考え たくましく生きる児童の育成

Cultivate a Love for the Community

めざす学校像

Heartful

- ▶ 明るいあいさつと笑顔があふれる学校
- ▶ 児童一人一人の個性を尊重し、ほめて育てる学校
- ▶ 児童の居場所が確保され、安心して登校できる学校
- ▶ 家庭・地域と連携し、豊かな心を育む学校
- ▶ 将来に生きて働く力を身に付けることができる学校

めざす児童像

思いやりのある子

相手のことや自分のことを考えて、言葉をかけたり行動できたりする子

自分で考え

自分で決め

人権教育の充実

個性を認めて支え合える子

自分で動き出す

めざす教師像

One Team

- ▶ 児童とのふれあいを大切に、心を育てる教師
- ▶ 授業力、問題行動への対応力のある教師
- ▶ 教育に対して情熱と向上心を持ち、学び続ける教師
- ▶ 組織の一員として協働する教師
- ▶ 保護者・地域から信頼される人間性豊かな教師

進んで学ぶ子

学ぶことの意味を考え、やる気をもって取り組む子

たくましい子

体を鍛えたり、困難を乗り越えようとしたりする子

学校経営の重点

- ▶ 旧細野小学校との統合元年であることを踏まえ、すべての教育活動において児童同士の交流を積極的に進めたり、保護者や地域住民への学校公開の機会を増やしたりするなど、両校児童・保護者の新たな学校生活への不安解消に努める。
- ▶ 地域素材の教材化や人材活用により「ふるさとを愛する心」をより一層育てるとともに、小・中9年間を見通した探究的で教科横断的な教育課程の編成に努め、総合的な学習の時間を中心とした「松小版ふるさと安中みらい学」を構築する。
- ▶ すべての教育活動において、結果を恐れず一歩前に踏み出す気持ち（ファースト・ペンギン・スピリット）を大切にした指導を行い、学んだことや体験したことを自ら進んで行動に活かすことのできる「実践力の育成」に努める。

Agency

確かな学びを高める学校

- ▶ 単元配列表作成・活用によるSDGsや地域連携、教科横断的な学習の確実な実施（カリキュラム・マネジメント）
- ▶ 「主体的・対話的で深い学び」を実現するための「松小学習過程スタンダード」を活用した児童が主役の授業づくり
- ▶ 安全・安心な学級風土の中で、自分の考えをもち（自己決定）、他と共有し（自己存在感）、他の考えを尊重しながら問題解決する（共感的な人間関係）授業づくり
- ▶ 個別最適な学びと協働的な学びを実現するためのICTを効果的に活用した授業改善（「アプリ活用能力体系表」の活用）
- ▶ 保護者や地域のボランティアを活用した個に応じたきめ細かな学習支援の充実
- ▶ 「学びアップ期間」（繰り返し学習）や「ステップアップ週間」（学習時間の記録）の設定による家庭学習の習慣化

自律した学習者

安心・安全な学校

Well-being

- ▶ 定期的なアンケート調査や職員会議における情報交換等による児童の悩みや不安の的確な把握、いじめの早期発見、心情に寄り添った迅速かつ組織的な対応の推進
- ▶ 企画委員会や学級委員を中心とした児童主体の人権教育・いじめ防止活動の推進
- ▶ SCやSSWなど外部専門員と連携した児童・保護者一人一人のニーズに応じた支援
- ▶ 共生社会へ向けた特別支援教育理解のための研修の推進
- ▶ 救急蘇生法、エピペン実習等の職員研修実施、食物アレルギー対応マニュアルの確実な実施
- ▶ スクール・バス利用者の日々の正確な把握と確実な配車、移動時及び乗車時のマナー・安全指導の徹底
- ▶ 施設設備の定期的な安全点検の実施と迅速な修繕

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）

学校経営基本方針の承認・充実した教育活動の推進

【保護者・区長会・老人クラブ・商店連盟・民生委員児童委員・青少年育成推進員・生涯学習指導員】

地域学校協働活動

学校評価の実施による点検・改善

家庭や地域とともに歩む学校

ふるさと安中みらい学

- 地域素材・人材の活用（地域連携）
 - ・ 郷土学習を通じた豊かな心の育成
 - ・ 学習支援ボランティアの活用
 - ・ まちかどギャラリーの開催
- 学校教育情報の共有
 - ・ 学校通信の発行やwebページの充実を通じた学校教育方針や教育活動内容の共有
- 松井田中学校との連携
 - ・ 9年間を見通した生徒指導
 - ・ 職場体験受入、合同あいさつ運動、児童生徒の交流